



武の子

令和2年5月28日

恵那市立武並小学校

学校報 No.3

TEL 0573-28-2028

takenami-e@ena-gif.ed.jp

校長 土屋 真由美

5月25日、地域別による午前、午後の分散登校の登校日として、学級は半数ずつの活動でしたが、ようやく学校が再開しました。

やはり、言うまでもなく、学校は子どもが主役であり、子どもたちの元気な声が響いてこそ学校です。ただ、再開はしたものの、まだ気を緩めることのできない日々が続きます。子どもたちの安心、安全で充実した学校生活を第一に考え、子どもたちが健やかに成長できるよう、職員一同、精一杯努力していきこうと改めて思っているところです。引き続きご支援よろしくお願ひいたします。

学校に子どもの笑顔が戻ってきました



4月7日の始業式、8日の入学式で新学年として元気に顔を合わせたのも束の間、約2ヶ月間（実のところ2月末から数えて3ヶ月間）の長い臨時休業でした。この間、家庭訪問や電話で話したり、ビデオ会議システム「ズーム」を使って、数人と画面上で話すことはできましたが、今回の久しぶりの学校での再会は、笑顔と歓声が溢れました。まだ、直に触れ合って喜び合うことや、ハイタッチこそできませんが、子どもの笑顔に、心が温かくなりました。

朝から運動場に飛び出し、ある程度の身体的距離（ソーシャルディスタンス）を保ちながら、仲間と楽しく自分の好きな遊具遊びやボール遊びを楽しむ子どもも多かったです。寂しかった運動場も、賑やかになり、運動場も大喜びです。

「仲間っていいな。」 「仲間と遊んだり勉強したりできる学校って、やっぱり楽しいな。」 という気持ちを大事にしていきます。

感染予防に十分注意して

学校は再開しますが、感染症予防を怠るわけにはいかない状況です。国や県、恵那市の指針をもとに、学校医、学校歯科医、学校薬剤師のアドバイスを受け、できる限りの手だて

で感染予防をしていきます。準備登校での課題も踏まえ、一斉登校に備えます。いつもお願いばかりで恐縮ですが、引き続き、ご家庭のご理解、協力をお願いします。詳しくは保健便りをご覧ください。

※家での検温、健康カードの記入をお願いします。発熱や風邪症状のある場合は、お休み（早退）です。



地域の方や家庭に支えられて 見守りに感謝

一年生の子どもにとって初めての登下校であり、経験のない新しいメンバーでの午後の分団登校でしたが、子どもの安全を守るために、保護者（PTA）や地域の方々（自治会や青少年育成町民会議の見守りボランティアさん、交通安全協会、武並駐在所）、市役所の方々が登下校の見守りをしてくださいました。学校、保護者、地域が一丸となって子どもを守り、思いやりのある子を育てようと大人が本気になってくださる武並の子どもは幸せです。感謝しております。今後とも、思いやりのあるたくましい武並っ子を育てていくために、ご理解、ご協力をお願いします。



長い臨時休業の間、ご家庭には大変なご負担をおかけしました。元気に登校してきた子どもを見て安心するとともに、お家の方への感謝の気持ちで一杯になりました。また、学校から配付した学習課題の見届け、WEB 動画授業の視聴、グーグルクラスルームでのコメント、「ズーム」によるビデオ会議システム等、学校からの随時配信する案内を確認し、すぐに対応して下さったおかげで、双方向の授業や顔を見て担任や仲間と話すことができました。長い期間、担任と繋がることができたのも、保護者の方は勿論、おじいさん、おばあさん、兄弟も含めたご家族のご協力のおかげです。

コロナ禍が教えてくれたもの

世界中の人が、自分や大切な人の命を守るために、我慢することや、自分で考えて前向きに行動することの大切さ、みんなで支え励まし合うことの大切さを学びました。また、ウイルスの感染だけでなく、恐怖や不安から差別や偏見が生まれ感染していくことの恐ろしさも…。大人にとっても初めての経験でしたが、遊び盛り子どもにとって、この自粛生活は大変だったことでしょう。ただ、この経験から大切なことを学び、確実に成長している子どもを頼もしく思います。

休業中のことを書いた子どもの作文には、次のようなことが書かれていました。

- BBQ、キャンプ、釣り等、たっぷり過ごした時間の中で家族の絆が一段と深まったこと
- 勉強、英語、火起し、料理、自転車、運動、早寝早起き等、自分の好きなことや苦手なことに挑戦し、できた喜びを味わい、自信に繋がったこと
- 自分のできるお手伝いや下の子の世話等、家族のために役立てる自分に、成長を実感したこと

お家の方の励ましやアイデア、協力のおかげで、不自由な中でも大きな宝物ができたようです。うんと褒め、さらに自信をつけさせ、次のステップへのエネルギーとしたいです。